

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 23 日 作成

事務事業名		工場等立地促進事業(ゴウシテック)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	松井 智則
	基本事業	35	企業誘致の促進			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1252
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	4
		1	7	1	3	11296		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (20 ~ 22 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	企業誘致推進の一環として、企業立地促進に関する条例に基づく要件を満たす企業に対し、次の補助金を交付する。 ・用地取得費補助金(工場等用地の取得価格の20%以内で限度額2億円で1企業1回限り) ・施設整備補助金(土地を除く固定資産税額の25%以内で年5,000万円を限度で3年間) ・雇用促進補助金(合志市内在住の新規雇用者1人当たり30万円を3年間で10人分限度) 全国的な企業誘致競争の中で、合志市に立地を決定するきっかけとなるために平成19年4月に条例を制定した。条例制定時に比べ、経済の落ち込みのため、企業の投資が鈍化している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	立地協定締結、工場等用地利用計画認定、着工確認、各種申請受付、検査、請求受付、支払
【主な予算費目】	合志市工場等立地促進に関する条例に基づき、上記3点の用地・施設・雇用の各要件により補助金の額を決定させる。
【意見や要望】	特に寄せられていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 21年度中に雇用促進補助金及び施設整備補助金の支出。200万円
	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年同様の活動を展開していく
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
→ ア 補助金対象企業数	社
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
新設・増設を行う企業	→ ア 新設・増設を行った企業数 社
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
新設・増設の際に補助金を支出することにより、新設・増設意欲の向上と市内在住者の雇用の確保につなげる。	→ ア 工場等用地取得面積 m ²
	→ イ 市内在住新規雇用者数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 企業の新設・増設意欲を向上させ、雇用の確保に努めるため、補助金を支出する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 社			1	1	1	1		
	イ								
⑤ 対象指標	ア 社			1	0	1	0		
	イ								
⑥ 成果指標	ア m ²			6014	0	0	0		
	イ 人			5	5	2	0		
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円		9,069	2,000	1,276	500	
	(A) 事業費計	千円		0	9,069	2,000	1,276	500	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人				3		
延べ業務時間		時間				62			
(B)人件費計		千円		0	0	247	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	9,069	2,000	1,523	500	0

総トータルコスト
 全体計画
 20 ~ 22 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	工場等立地促進事業(ゴウシテック)	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>企業立地促進に関する条例に基づく要件を満たした企業へ補助金を交付した。反省点はなし</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>条例に基づく補助金の交付なので、継続して事務事業を推進していく</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
なし